

### [アテネの民主制]

ペルシア戦争後、デロス同盟の盟主のとなったアテネ  
→将軍ペリクレスが民主制を完成させた。

#### 〈アテネ民主制の特徴〉

- ・最高決定機関は**民会**
- ・**18歳以上の成人男性に選挙権**がある。
- ・**直接民主制**をとる。
- ・**将軍職などを除いたほとんど全ての役職に抽選制**を採用。
- ・**奴隷制**を中心として成立

前451年…市民権法：アテネ市民は両親がアテネ市民のものに限る。

#### 〈ポリスの覇権の推移〉

・デロス同盟成立後…アテネがギリシアの覇権を握る。  
⇔これにスパルタが対抗し、**ペロポネソス同盟**を結成。

→**前431年…ペロポネソス戦争**                      デロス同盟 vs ペロポネソス同盟

→アテネはペリクレスの死後**デマゴゴス(扇動政治家)**によって**衆愚政治**に陥り、弱体化。  
⇒スパルタが勝利してギリシアの覇権を握る。

→ペロポネソス同盟に反スパルタ勢力が同盟として対抗。

→コリントス戦争：ペロポネソス同盟 vs 反スパルタ同盟

⇒アントルキダス条約(大王の和約)で終戦。スパルタのギリシアでの覇権が確定。

→レウクトラの戦い：スパルタ vs テーベ

⇒勢力を伸ばしつつあったエパメイノダス率いるテーベ軍がスパルタ軍を破る。

→ギリシアの覇権はテーベに移る。

- ・その後ポリス間の争いは続き、各ポリスは疲弊してくる。